

## オルゴール ゼンマイの巻き込み

2023.01.18 ゆきや

ゼンマイを巻き込むのはなかなか大変です。

ましてや、今回依頼されたのは、ちょっと大きなディスクタイプのオルゴールです。普通でしたらお断りする部類に入るのかもしれませんが、どなたかが既に分解して、バラバラになっているものを、復元して欲しいという依頼だったので、お預かりしました。

リュージュというスイスのオルゴールメーカーの製品です。

ディスクを交換する事で、様々な曲を演奏できます。



写真左側が表面、外周のギヤで回転します。回りながら、裏面に突き出たトゲが、櫛歯を弾いて音を出すのです。



全体がしっかりした造りで、ゼンマイも長大、歯車も分厚いものでした。その中でただ一つ、速度調整部分のギヤだけがプラスチック製で、真二つに割れていて、既に接着されていました。しかし接着だけでは弱く思えたので、0.5mmのステンレス線で、2か所結束しました。(このギヤはすり減っていて、また割れを接着した結果の、歪みが見られました)他に傷みなどは見られなかったので、組み立てにかかります。

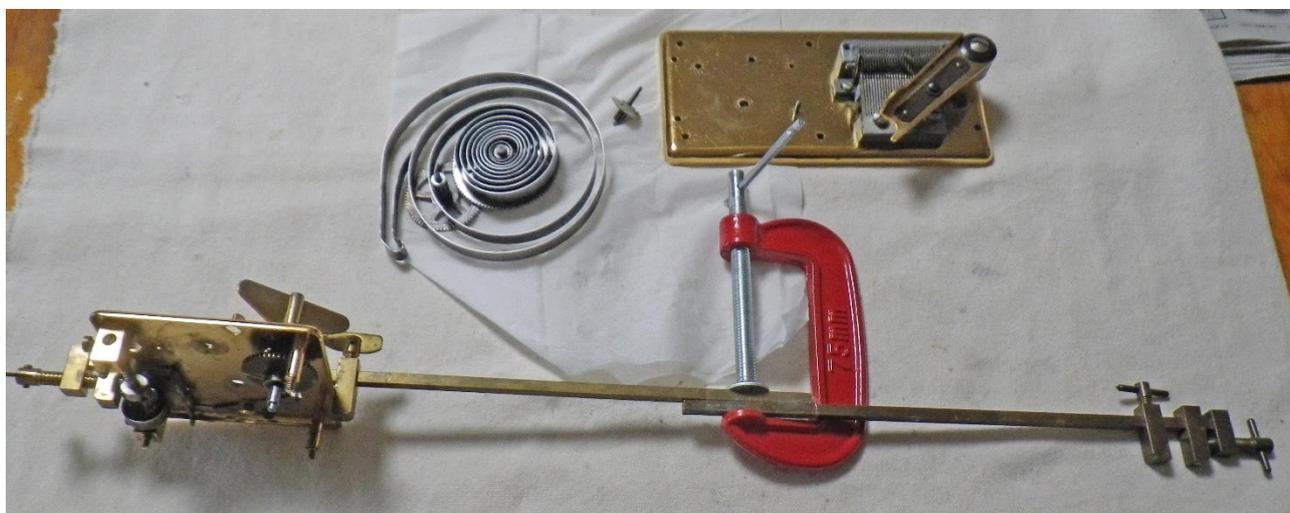
難渋したのは、長く強力なゼンマイと分厚いギヤの組み込みでした。

何回か試みましたが、弾けたり、外れたり、素直に嵌まってはくれません。

そこでゼンマイを引き出して置いてメカをはめ込み、後でゼンマイを巻き込む事を考えました。ただその作業中、引き出したゼンマイを、どこかに固定して置く必要があります。ヒモで外部に固定したのでは、作業がしづらいでしょう。考えたのは、ギヤボックスから棒を突き出し、その先にゼンマイを固定することでした。ギヤボックスに取り付ける事が出来る頑丈で長い物。思い付いたのは、和風クランプとも言うべきハタガネ（播金）です。



右端のWクリップは、ゼンマイの先を押さえるつもりで用意したものです。ただ実際に始めてみると、長さが全く足りない事、ゼンマイが予想以上に強力でWクリップでは抑えきれない事が分かりました。そこでハタガネを2本つないでクランプで締め付け、ギヤボックスに取り付けました。右のハタガネの先で、ゼンマイを押さえることも出来ます。



左が実際の作業中の様子です。下半分に弓のように映っているのがゼンマイです。ゼンマイは油脂でツルツルしているから、手袋をして弾力を抑え込みながら、力ずくの作業、指先もなかなか疲れました。

こうして組みあがって、演奏はなんとか出来るようになりました。ただ割れたギヤの変形は如何ともし難く、時々止まってしまふのです。残念！！

